

SHIRAKOBATO

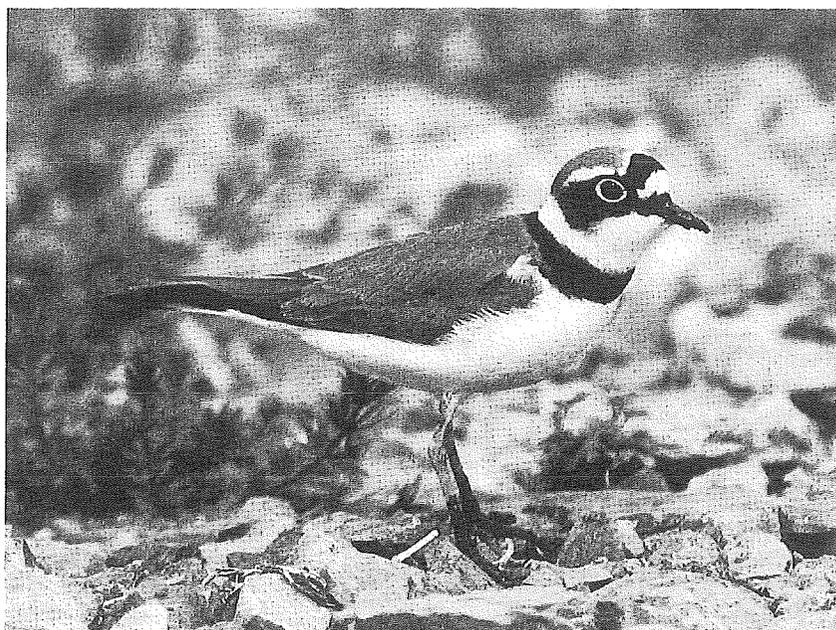
しらこぼと



1995. 4

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 132

日本野鳥の会 埼玉県支部

戸隠高原は長野県北部に位置し、標高1,000から1,350mの高原です。なだらかな裾野をもつ飯縄山や黒姫山、それらの山々と対照的に峨々たる威容をほこる戸隠山と西岳はここを訪れた人々を魅了することでしょう。この戸隠高原は軽井沢、奥日光と並ぶ野鳥の宝庫であり、多くのバードウォッチャーのあこがれの探鳥地でもあります。埼玉県支部ではここ数年、5月下旬から6月上旬に探鳥会を開催していますが、誌上を借りてその探鳥会をシュミレーションしてみましょう。

一の鳥居から台座法師池へ

長野駅をバスで発ち、まず最初に訪れるのが一の鳥居（自然公園）です。この場所は飯縄山の南麓に位置し標高1000mの高原で、戸隠というよりも飯綱高原と言ったほうが良いでしょう。園内はきれいに整備されトイレや休憩所も完備されています。植生はアカマツを中心にシラカンバ、カラマツなどからなります。バスを降りるとノジコ、アオジ、アカハラ、カラ類などのさえずりが聞こえてきます。6月に入ると時間によってはエゾハルゼミの鳴き声で野鳥の声が聞き取りにくくなることもあります。その分みごとなレンゲツツジが目を楽しませてくれます。

駐車場からゆるやかな坂を上ると目の前が開け、戸隠山の勇姿に目を奪われます。天気恵まれれば遠く北アルプスが遠望できます。ここではノスリ、トビなどの猛禽類、アマツバメなどを見ることができます。園内ではカラ類、ゴジュウカラ、アカゲラ、アカハラ、トラツグミ、コサメビタキ、カッコウなどを見ることができます。付近の別荘地でも多くの野鳥を見ることができます。別荘地はキビタキ、クロツグミ、アオジ、ノジ



コの声で満ちあふれています。一昨年の探鳥会ではイスカの群れに出会いました。

一の鳥居から信濃路自然歩道を歩き台座法師池に向かいます。途中、リュウキンカの咲く湿原があり、ここではオオヨシキリが大声でさえずっています。湿原の周囲の梢ではニュナイスズメを見ることができます。

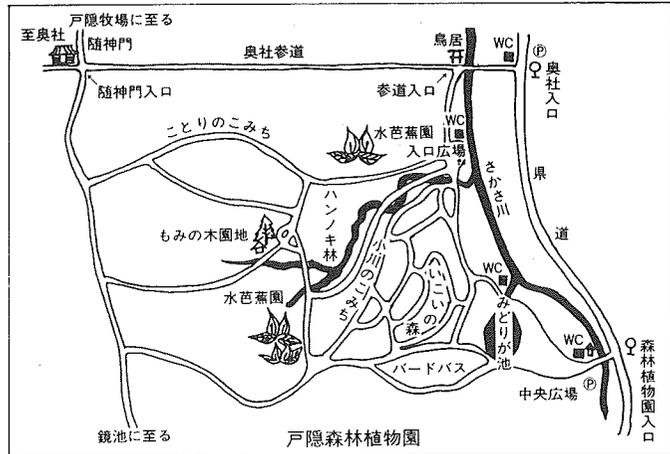
巨人ダイダラボッチが飯縄山を作るとき、その足跡が池になったといわれるのが台座法師池です。ここではカルガモ、カイツブリ、サギ類などの水鳥を見ることができます。これで初日の探鳥は終わりです。夜は地酒で乾杯、明日見られるであろう野鳥の話題がつきません。

越水が原と戸隠森林植物園

2日目は宿を午前3時半に出発します。もちろん、お目当てはオオジシギのディスプレイライトと野鳥の大コーラス。朝食前の早朝探鳥は自由参加なので、朝早く起こされたら怒るのは筋違いです。体調の悪い人、昨夜飲み過ぎた人は十分睡眠をとっていただきたいと思います。

フクロウやヨタカの鳴く、真っ暗な越水が原で静かにショーの始まりを待ちます。アカハラがさえずり始め、東の空が明るくなりかけたころ、ズビヤーク、ズビヤークとカミナリのような大音響、そうですオオジシギのデモフライトの始まりです。しばらくショーを堪能した後、次の目的地へ向かいます。

戸隠高原の中央部、戸隠山の麓に位置するのが戸隠森林植物園です。園内では進行中の湿生遷移を実際に見ることができ、湿地を好むハンノキから、次第に土壌が乾燥するにしたがい、ハルニレ、ミズナラ、ブナの林に変



わっていくのが分かります。これらに加えて、シラカンバ、ミズナラの二次林、スギ、カラマツの植林地と実にさまざまなタイプの林が混在しています。また林床ではミズバショウ、リュウキンカ、キクザキイチゲ、クリンソウ、カタクリなどが目を楽しませてくれます。しかし、ここでの最大の魅力はホトトギス、アカハラ、クロツグミ、キビタキ、アオジ、ウグイス、カラ類の大コーラスです。

みどりが池の周囲の枯木ではニューナイズズメが繁殖しています。巣穴から顔を出しているのは雄でしょうか。みどりが池から入口広場に向かいます。途中、コサメビタキ、キビタキ、アカゲラなどが見られるでしょう。小川の小道ではミソサザイ、キビタキなどの姿が見られるでしょう。ホーチイチイとさえずりをたよりにヤブの中を丹念に探せばクロジが見つかるかも。

水芭蕉園ではミズバショウを観察し、もみの木園地で休憩しましょう。この付近はコルリの声で満ちあふれています。ウラジロモミではクイタダキが小さな声でさえずっています。そろそろおながが空きました。宿に戻って朝食にしましょう。

奥社から戸隠牧場

朝食後、森林植物園に戻り、こどりの小道を通して随神門に向かいます。ここから奥社まで往復約1時間ほどです。この時間になると参道は多くの参拝者でにぎわっています。参道沿いには小川が流れ、ミソサザイが盛ん

にさえずっています。参道の杉並木にキバシリやゴジュウカラの姿も見られるでしょう。

奥社に参拝した後、振り返ると大きな枯木があり、運が良ければその枯木の枝でオオルリが見つかるでしょう。頂きを見れば上空にたくさんのアマツバメがひるがえっているのが見られます。

随神門に戻り、戸隠牧場へと向かいます。戸隠牧場への道はささやきの小道と呼ばれており、野鳥の数はさほど多くありませんが新緑の中を歩くのは気持ちのいいものです。途中ではカラ類やムシクイ類が見られるでしょう。牧場が近くなるにしたがい野鳥も多くなり、牧場ではコムドリ、アカゲラ、アオゲラ、サンショクイ、ニューナイズズメを見ることができるでしょう。一本の枯木にアカゲラ、コムドリ、キバシリ、ヒガラが営巣していたこともありました。

牧場での最大の楽しみは猛禽類です。ノスリ、オオタカ、ハチクマ、トビなどが上空を舞い、運がよければイヌワシも見られるかもしれません。楽しかった探鳥会もそろそろ終わりです。おそらく、50から60種の野鳥を観察できたことと思います。

(菱沼一充)

〈参考図書〉

- * 『戸隠の自然』 信濃毎日新聞社
- * 『自然観察路ガイド』 平凡社
- * 『日本列島野鳥maps・関東甲信越の野鳥』 北陸館

オオワシ捕獲大作戦

三田長久 (狭山市)

オオワシにアルゴス送信機を取り付け、人工衛星を使って移動状況を調査する研究が始まった。環境庁が山階鳥類研究所と日本野鳥の会にオオワシの捕獲と衛星追跡を委託したもので、送信機はNTTが無償で提供した。その送信機を開発した私は、オオワシ捕獲の現場にも立ち会った。

●第1日目

作家でナチュラリストの高田勝さん経営の民宿風露荘がオオワシ捕獲の指令所だ。捕獲の責任者である山階鳥研の佐藤さんが2月6日から滞在して、捕獲場所の選定と餌付けを始めていた。

私と日本野鳥の会研究センターの植田さんは、10日に東京を出発する予定だったが、オオワシがどんどん集まっているとの連絡を受け、植田さんは9日に釧路に飛んだ。

私は予定通り10日に立、夕方6時半頃、風露荘に到着した。その日は根室は吹雪。とてもオオワシを捕獲できる状況ではなく、3時起床で頑張ったみんなはだいぶお疲れの様子。車をずらっと並べるのはよそうとか、車の外に三脚をたてて観察するのはやめようとか、反省点が出されていた。捕獲に間に合ってハッピーな気分の私は、高田さんの外国の鳥の話や鳥の羽のコレクションで楽しんでしまった。

●第2日目

11日は4時起床。真っ暗な中、根室市友知海岸へ。いつも漁師さんが魚を捨てる場所で、オオワシがよく集まっているそうだ。

ロケットネットの火薬は、夜には取りはずすので、まず火薬の装着をする。50mほどワイヤーをのばして、佐藤さんと高田さんが車



にこもる。ほかの者は、500mほど離れた現場を見通せる道路沿いの車内から観察する。

10時頃まで待つが、オオワシは上空を飛んだり堤防にとまったりするが、エサに集まるのはカラスとカモメばかりである。オジロワシは、着地せずに、エサだけさらって行く。

少し休憩して11時半頃戻ると、オオワシ7羽がエサについていたが、やはり現場から見通せる道路に車が並んでいるのが良くないのだろうということで、連絡用の1台を残して他は1kmほど離れた漁港に移動する。

漁港にはコオリガモとクロガモがたくさんいて、近くの崖沿いでは、コミミズクがエサを探して行き来していた。

3時頃にはオオワシがねぐらに帰ってしまったので、解散した。

●第3日目

この日も4時起床で現地に向かう。今日は100mほどワイヤーを伸ばし、建物の陰に隠れた車の中にダイナモを置く。佐藤さんの指令車と日本テレビの車だけを500m程離れた道路に止めて、そこからダイナモ操作係の青木さんにトランシーバーで発射の指示を出す作戦だ。昨日は、カラスの動きが異常であったと感じた佐藤さんの指示である。今日は日テレもカメラを車の外に出さず、他の車はすべて漁港で待機している。

6時半頃オオワシが集まり始めたとの一報が入り、緊張する。6時38分、3・2・1のカウントダウンと、発射の指示が出た。大急ぎで現場に行くと、凍った場所でスピンした車があって、ネットには13羽のオオワシが捕獲されていた。

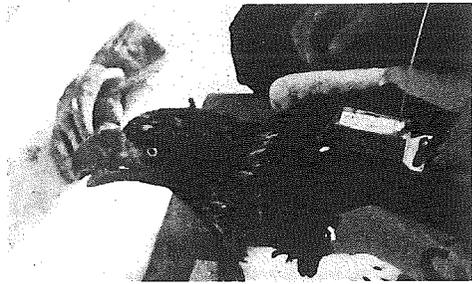
3人一組で作業しろとの指示であったが、1人でつかもうとした青木さんが、2羽逃が

してしまい、結局成鳥3羽、幼鳥8羽が捕獲できた。カラスも8羽ほどネットにからんでいたが、中には死んだふりをしているやつもいた。

捕獲したオオワシはジャケットにくるみ氷上に置くと、観念したように鳴きもせず、おとなしくしている。順番に各部寸法の測定、足輪付け、染色体とDNA鑑定のための組織採取、肩タグ付けが行われた。

私は送信機を7秒ごとにスタートさせ、受信機で動作を確認する。開発した本人が言うのもなんだけれども、気圧と温度のセンサーがついていて、出力部を改良して電池の寿命を従来の1.3倍にした優れたものだ。また、この電波使用は、私の名義で許可を得ているので、私が動作させなければならぬ。私はただオオワシ捕獲を見物に行ったわけではないのだ。

全部で7台で、パルス間隔は60秒なので、8秒ごとにスタートすればよかったのだが、



なぜかあわてて7秒ごとにスタートしてしまった。個体識別の写真撮影の後に放鳥した。できるだけ手早く作業をしても、2時間近くジャケットにくるまれていたせい、なかなか上昇しないのもいてやきもきさせられたが、なんとか国道を越えてねぐらの方まで行った。

作戦は大成功だった。7羽にはご苦労をおかけするが、国際的に保護の輪を広げるためには、渡りのルートを見いだすことが必須である。がんばれ、オオワシ。

(NTT主幹研究員)

◆はみ出し行事案内◆

東京都・三宅島探鳥会 (要予約)

期日：5月12日(金) 夜行～14日(日)
集合：12日20時 JR山手線浜松町駅(東京駅寄り改札口)
帰着：東京港に14日19時20分頃の予定
費用：20,000円の予定(1泊3食、往復船賃<2等船室>、保険料等)。他に島でのバス代若干。万一過不足は当日精算。
定員：25名程度(先着順、支部会員優先)
申込み：通常葉書で榎本秀和(〒)まで。乗船名簿記入のため、住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号を必ずご明記ください。
担当：榎本、北川、岡安、伊藤、兼元
見どころ：今年も島と海と鳥の旅。あこがれのバードアイランドで日の出前から夜まで、たっぷり探鳥三昧です。帰りの船上探鳥もおおいに期待しましょう。
注意：12日は船中泊、13日は男女別の相部屋です。個室のご用意はできません。

長野県・戸隠飯綱高原探鳥会 (要予約)

期日：5月27日(土)～28日(日)
集合：27日午前10時、JR長野駅改札口前
交通：特急「あさま1号」(上野7:00→大宮7:22→高崎8:10→長野9:51着)、または普通電車(高崎7:13→長野9:27着)
費用：10,000円の予定(1泊3食、現地バス代、保険料等)。万一過不足は当日精算。集合地までの往復交通費は各自負担。
定員：30名(先着順、県支部会員優先)
申込み：往復葉書に住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記して、菱沼一充(〒)まで。
担当：菱沼(一)、伊藤、林(慎)、岡安
見どころ：バードウォッチャーあこがれの地、キビタキ、オオルリ、クロジ、マミジロ、クロツグミなどの姿とコーラスを求める旅。野鳥のさえずりを覚える絶好の機会です。夜は例年どおり手打そばと地酒と野鳥のビデオ。
注意：宿泊は男女別の相部屋です。個室のご用意はできません。

カワウ ◇3月1日、浦和市の白幡沼で9羽
(海老原教子)。

カルガモ白化? ◇2月12日、鷺宮町の鷺宮
産業団地脇の弦代公園の池で1羽。くちば
しは、カルガモと同じで先端は黄色で元は
黒。一緒に泳いでいたカルガモとの違いは
なかった。目は、くちばしと同じ程度に黒
い。顔は、少し茶色味があるためカルガモ
の特徴はあるが、胴体は、普通のカルガモ
の頭側線と同じ位の白さであり目だった
模様はない。大きさは、周囲にいるカルガ
モと同じ。脚の色は、水の中を泳いでい
ただけだったので確認できなかった。飼育さ
れている合いガモもアヒルのように白いと
聞いているので、かご抜けの可能性もある
(金井祐二)。

アメリカヒドリ ◇2月19日、志木市の柳瀬
川栄橋上流で♂1羽(中司隆由)。

オオタカ ◇2月11日、滑川町の森林公園北
口付近で1羽(森本國夫、小荷田行男、石
井智、柳原正昭)。

ハイタカ ◇2月11日、滑川町の森林公園北
口付近で1羽(森本國夫他3名)。

ノスリ ◇2月20日現在、吹上町小谷の荒川
河川敷と吉見町のボンボン山付近で越冬中
(石井智)。

ハヤブサ ◇1月31日、吹上町本町の自宅上
空で1羽(逸見峻)。

コチドリ ◇1月2日、大宮市三橋一丁目の
鴨川干潟で4羽。丸くなって休んでいた(浅
見健一)。

ムナグロ ◇1月15日、大宮市日進1丁目の
鴨川、下内野橋下流干潟で2羽。互いに近
づくとも争っていた(浅見健一)。

タゲリ ◇1月20日、川越市の伊佐沼北側、
市民菜園側の畑地で6羽。「ミチャーミ
チャー」と盛んに鳴き交わしながら飛びかう
(中司隆由)。

タシギ ◇2月18日、鴻巣市の糠田排水機場
で1羽(石井智)。

セグロカモメ ◇1月15日、大宮市三橋一丁
目の鴨川干潟で1羽。干からびた魚をつつ
く。ハシボソガラスがうらやましそうに見
ていた(浅見健一)。

カワセミ ◇1月7日、鴻巣市の荒川と糠田
放水路の合流点で2羽(内藤義雄)。

アカゲラ ◇12月26日、吹上町小谷の荒川河
川敷内の林で2羽(石井智)。◇2月
12日、春日部市の内牧公園南側の雑木林で
盛んに木をつつく(石川敏男)。

アオゲラ ◇2月4日、菖蒲町の神明神社で
♂1羽。すずく「ピョー、ピョー」とく
り返し鳴くのが見られた(内藤義雄)。

ヒバリ ◇2月19日、富士見市水子の柳瀬川
左岸の田んぼで揚げヒバリ1羽。青空高く
さえずる。と思ったら、すぐ近くの田んぼ
からも1羽舞い上がる。春ですね(中司隆
由)。

ビンズイ ◇1月15日、大宮市日進1丁目の
松林下の草地で1羽(浅見健一)。◇2月
7日、行田市のさきたま古墳公園で4羽。
松の木の下で盛んに餌をとっていた(内藤
義雄)。

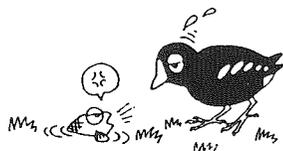
カヤクグリ ◇2月11日、滑川町の森林公園
山田大沼付近で2羽(小荷田行男、石井
智、柳原正昭)。

ルリビタキ ◇1月12日、飯能市の子の権現
から吾野駅への下山路脇の小溪流で♂1羽
(中司隆由)。◇2月7日、東松山市の岩
殿観音の境内で♂♀各1羽(内藤義雄)。
◇2月7日、東松山市の市民の森で♀1羽
(内藤義雄)。

ごめんなさいコーナー

先月号(No.131)の特集で、県営みさと
公園までの交通手段に誤りがありました。

「金52」系統のバスは、JR武蔵野線
「三郷駅」とJR常磐線「金町駅」間を往
復しています。公園への最寄りのバス停
は「高須」です。



トラツグミ ◇1月23日、大宮市日進1丁目
で1羽(森本國夫)。◇1月28日、行田市
のさきたま古墳公園の薬草植物園で1羽
(逸見嶮)。

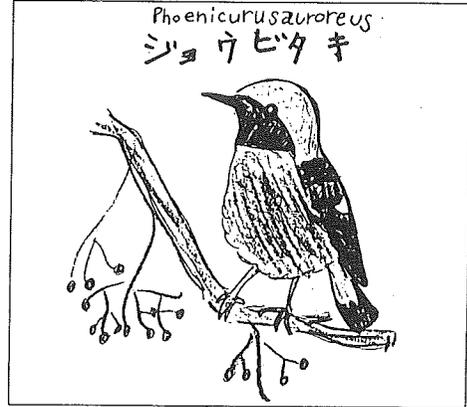
シロハラ ◇1月28日、菖蒲町の神明神社で
1羽。落ち葉をガサゴソとかき回している
のを見ていたら、ネコがソロリ、ソロリと
近づく。もちろんネコは失敗(内藤義
雄)。◇2月7日、東松山市の物見山駐車
場脇の壁面で1羽。ガサゴソと落ち葉をか
き回していた(内藤義雄)。◇3月3日、
浦和市鹿手袋の自宅庭で1羽。餌台のリン
ゴが地面におちていたのを盛んに食べてい
た(海老原教子)。

キクイタダキ ◇1月2日、大宮市日進1丁
目でシジュウカラ、ヒガラ、メジロの群れ
中に1羽(浅見健一)。◇1月23日、大宮市
日進1丁目目で1羽(森本國夫)。◇2月4
日、菖蒲町の神明神社で複数羽(内藤義
雄)。◇2月12日、春日部市の内牧公園南
側、農家庭先のヒノキで餌をついばむ。近
くで飛び回り頭頂部の黄色もよく見えた
(石川敏男)。

コガラ ◇2月4日、菖蒲町の神明神社でカ
ラ類の中に複数羽(内藤義雄)。◇2月7
日、東松山市の岩殿観音の境内でカラ類の
中に1羽(内藤義雄)。

ヒガラ ◇1月23日、大宮市日進1丁目目で3
羽(森本國夫)。◇2月7日、東松山市の
岩殿観音の境内でコンクリートの建物に付
いた昆虫の巣をつつき、餌としていた(内
藤義雄)。◇2月24日、浦和市上野田で2
羽(藤原寛治)。

ヤマガラ ◇1月2日、富士見市関沢の住宅
街の中の雑木林でシジュウカラ、メジロの
群れ中に1羽(中司隆由)。◇2月4日、



カット 吉田望(小4)

菖蒲町の神明神社でカラ類の中に複数羽
(内藤義雄)。

メジロ ◇2月7日、幸手市の自宅庭の木斛
の枝で2羽が仲良く並び、羽づくろいを交
互にしてあげるような行動をする。また、
ヒヨドリが来ると花ザクロの枝にすぐ逃げ
込んで、いなくなるのを待っていた(田畑
孝・よし子)。

ミヤマホオジロ ◇2月11日、滑川町の森林
公園北口付近で♂1羽(森本國夫他3名)。

マヒワ ◇2月19日午後12時、浦和市秋ヶ瀬
公園の河川敷で約40羽。集団で草を採食し
ていた(宇恵昭良、吉村充広)。◇2月
25日、吹上町富士見で2羽。人や車を恐れ
る様子もなく、街路樹の実をつついてい
た。平地の町中で見られるとは思っていま
せんでした(伊藤茂)。

ベニヒワ ◇2月19日、浦和市秋ヶ瀬公園の
河川敷でマヒワ群れ中に♀1羽(宇恵昭
良、吉村充広)。

ウソ ◇2月7日、東松山市の岩殿観音の境
内で5羽。桜の若芽をついばんでいた(内
藤義雄)。

表紙の写真

『気ままにバードウォッチング』掲載作品

コチドリ (チドリ科)

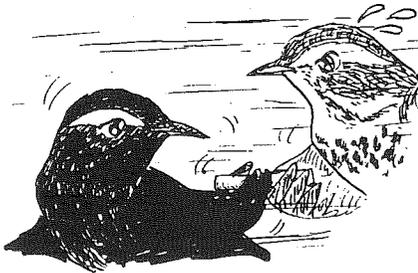
見沼たんぼの春。コチドリも、子育ての季
節。調整池工事のための砂利道で抱卵してい
るつがい数が数組いる。

この個体もそのうちの1羽と思われる。レ
ンゲの花の近くに来てくれた。

知らずに近づく人も多い。すでに巣を放棄
してしまったつがいもいるので、無事に子供
を育ててもらいたいと願いつつ、シャッター
を切った。

水内 誠(草加市)

行事あんない



(渡辺 敦)

浦和市・見沼ヘルシーロード探鳥会

期日：4月1日(土)

詳細は3月号を御覧ください。

北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：4月2日(日)

集合：午前8時30分 北本自然観察公園駐車場、または午前8時15分JR高崎線北本駅改札口、集合後、タクシーで現地へ。リーダーの指示により分乗して下さい。

担当：岡安、吉原、内藤、榎本、永野(安)、永野(京)、川那部

見どころ：石戸の春は梅、桃、桜へと切れ目がなく、去る鳥、来る鳥も多くにぎやかだ。メジロ、ベニマシコ、オオアカゲラが桜の名所のパンフレットを用意しています。お弁当持参どうぞ！

浦和市・差間探鳥会

期日：4月2日(日)

集合：午前9時 JR武蔵野線東浦和駅前

担当：手塚、伊藤、笠原

見どころ：野辺は春の装いでいっぱい。旅仕度の整ったアオジ、カシラダカは梢で歌い、上空にはツバメがスイスイ。桜も見ごろの差間に是非きて下さい。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：4月9日(日)

集合：午前9時30分 秩父鉄道大麻生駅前

交通：秩父鉄道熊谷9:11発、または寄居9:

探鳥会への参加は、特別な場合を除いて予約申込みの必要はありません。受付は探鳥会当日。参加費は一般100円。会員及び中学生以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。小雨決行です。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時ごろになります。

◇はじめて探鳥会に参加される方へ◇

集合場所へ着いたら、まず「日本野鳥の会埼玉県支部」の旗か、青い腕章をつけた担当者を探して、遠慮なく声をおかけ下さい。私達もあなたを探していますので、ご心配なく。

03発に乗車

担当：菱沼(一)、森本、小池、田口、斉藤、菱沼(洋)、根岸、中島(章)、和田、石井(博)

見どころ：一年ぶりのニューナイスズメ。今年も無事にやって来るかな。それに桜とSLも今では大麻生の名物です。

浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：4月16日(日)

集合：午前8時15分 京浜東北線北浦和駅東口(集合後、バスで現地へ)または、午前9時 浦和市立郷土博物館前

後援：浦和市立郷土博物館

担当：楠見、福井、手塚、伊藤、渡辺(周)、笠原、若林、岡部、倉林、嶋田、兼元

見どころ：見沼たんぼをとり囲む東縁、西縁の代用水に沿って植えられたサクラが花びらを水に浮かべる頃探鳥会。盛り頃の頃であったならと恨む(?)のです。しかし4月は参加者が多く賑やかです。鳥見の新生、是非お出下さい。

滑川町・武蔵丘陵森林公園探鳥会

期日：4月22日(土)

集合：午前9時30分 森林公園南口駐車場

交通：東武東上線森林公園駅より森林公園南口行き9:17発バスに乗り、終点下車

費用：入園料 390円(小人80円)

担当：吉原 岡安、内藤、長谷部、小淵、石

井(幸)、立岩、佐久間、藤掛、中村
(治)

見どころ：春に催す当地の探鳥会は初めて。
どんな鳥に出会えるか楽しみです。旅
の途中のムシクイの仲間、見上げる青
空にサシバなどを期待しましょう。

寄居町 鍾道堂山探鳥会

期日：4月23日(日)

集合：午前9時10分 秩父鉄道寄居駅北口

交通：秩父鉄道熊谷8:23発、または御花畑8:
19発、東武東上線川越8:00発(小川町
乗継)にそれぞれ乗車

担当：田口、小池(一)、林(滋)、菱沼
(一)

見どころ：新緑の中をのんびり歩きましょ
う。去年の秋、南の国へ見送ったサシ
バに出会えるかも。軽く汗をかいた後
の山頂のひと息は格別ですヨ。

注意：花粉対策はしっかりと。

浦和市 秋ヶ瀬探鳥会

期日：4月23日(日)

集合：午前8時 JR浦和駅西口バスロータ
リー(集合後、バスで現地へ)

担当：福井、楠見、伊藤、小林(み)、笠
原、嶋田、羽石、倉林

見どころ：この時季の秋ヶ瀬は鳥種も多く、
楽しさイッパイ、シギやチドリをはじめ、
サギも大中小と勢揃い。ここで比
較観察すれば、自信がきますヨ。

シギ・チドリ類県内一斉調査

期日：4月29日(土・祝)

埼玉県支部では、春と秋の2回、独自にシ
ギ・チドリ類の県内一斉調査を行っていま
す。とくに下記の地点では、より多くの会員
の参加・ご協力をお願い致します。

◆秋ヶ瀬(浦和市・大宮市)

集合：午前9時30分 大久保浄水場の北西角
近くの土手の上、水門のあたり。

担当：石井 智

解散は昼頃の予定。調査のため参加費は不
要です。雨天でも行います。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：4月29日(土・祝)午後1時～2時頃

会場：支部事務局 108号室

野鳥写真クラブ定例会

とき：4月29日(土・祝)午後2時頃～5時

会場：『しらこぼと』袋づめの会と同じ

春日部市・内牧公園探鳥会

期日：4月30日(日)

集合：午前8時30分 東武伊勢崎線春日部駅
西口、東武バス1番バス停前(集合後
バスで現地へ)、または午前9時30分
内牧アスレチック公園前駐車場

担当：石川、篠原(東)、吉安、入山、橋口

見どころ：田植えの頃の水田ではサギ類やシ
ギ、チドリが羽を休めています。新緑
の斜面林・屋敷林では渡り途中の夏鳥
に出会えるでしょう。どうぞご期待!

千葉県 谷津干潟探鳥会

期日：5月5日(祝・金)

集合：午前9時10分 JR南船橋駅改札口付近

交通：JR武蔵野線 北朝霞8:04→南浦和8:
14→南越谷8:26→南船橋9:02着

解散：12時ごろ谷津干潟にて

担当：杉本、篠原(東)、中村(治)

見どころ：夏羽になったシギ・チドリが渡り
の途中、干潟で羽を休めています。こ
の干潟が一年のうちで最も華やかにな
る季節です。アフターは自然観察セン
ターへどうぞ。

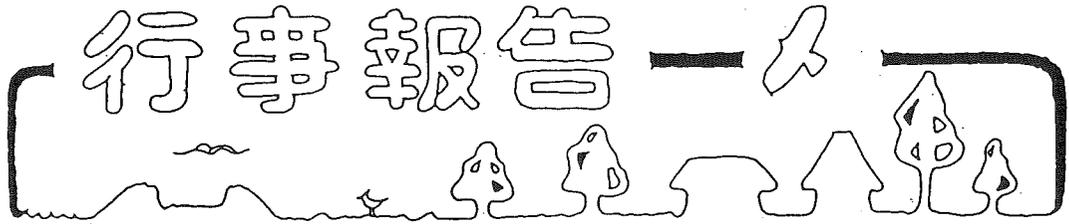
行事案内のカット

(渡辺 敦・名古屋市)

冬鳥から夏鳥へ移っていく季節です。ちょ
うどりレーで言うバトンタッチの時なので
すよ。そこで「冬の使者ツグミから夏の鳥マミ
ジロへ、今、バトンが手渡されたところで
す」なんて実況が聞こえそうな…。

行事案内は5頁にも記載されています。

行事報告



11月12日(土) 栃木県 奥日光

参加: 58人 天気: 晴

マガモ カルガモ コガモ ヒドリガモ オナガ
ガモ トビ キジバト アカゲラ コゲラ セグ
ロセキレイ ヒヨドリ ルリビタキ ツグミ エ
ナガ コガラ ヒガラ シジュウカラ ゴジュ
ウカラ キバシリ ホオジロ カシラダカ カワ
ラヒワ ベニマシコ スズメ カケス ハシボソ
ガラス ハシブトガラス (27種) 第2土曜日の日
帰り探鳥会ということで、58人の参加者。ズミの
実もほとんどなく、たくさんの人で驚いたのもあ
ってか、鳥はさっぱり。かろうじてゴジュウカラが
何回も顔を出してくれた位だった。奥日光でもこ
んな時もあるのだろう。これにこりず、また次回
を楽しみに参加して下さい。(中島康夫)

11月23日(水、休) 久喜市 昭和池

参加: 28人 天気: 晴

カイツブリ カワウ マガモ カルガモ コガモ
トモエガモ ヨシガモ ヒドリガモ オナガガモ
ハシビロガモ ホシハジロ キンクロハジロ オ
オバン セグロカモメ キジバト カワセミ ハ
クセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ
ウグイス シジュウカラ メジロ アオジ カワ
ラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス (28
種) ここの参加者の目的の1つは、トモエガモを
観察する事であるが、今年も20羽近くをバッチリ
見ることができた。他には、ヨシガモやカワセミ
も見えた。(中島康夫)

11月27日(日) 大宮市 深作川遊水池

参加: 42人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ マガモ
カルガモ コガモ オカヨシガモ オナガガモ
ハシビロガモ ホシハジロ チョウゲンボウ オ
オバン タゲリ イソシギ キジバト ヒバリ
ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ
ツグミ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボ
ソガラス ハシブトガラス (27種) 強風で目を開

けていられないほど。はたして鳥が出てくれるか
と、心配しながらのスタート。それでも10羽近く
のタゲリが風にあおられながら飛んでいる姿が見
られた。川では、オカヨシガモ数羽が間近で見ら
れ、初めての人も多くて満足した様子だった。

(中島康夫)

1月8日(日) 大宮市 深作川遊水池

参加: 40人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサ
ギ マガモ カルガモ コガモ オカヨシガモ
オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ バン
オオバン タゲリ イソシギ タシギ セグロカ
モメ キジバト ヒバリ ハクセキレイ タヒバ
リ ヒヨドリ モズ ツグミ ホオジロ オオジ
ュリン カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ
ハシボソガラス ハシブトガラス (33種) 深作川
には、ここ2~3年オカヨシガモが飛来している。
オカヨシガモは地味な色合いのカモだが、通好み
と言うか、ファンが多い。そのオカヨシガモが♂
♀10数羽じっくりと観察できた。他には、ハシビ
ロガモやホシハジロも多かった。(中島康夫)

1月16日(月、振休) 寄居町 鐘撞堂山

参加: 56人 天気: 晴

トビ ノスリ キジバト コゲラ キセキレイ
セグロセキレイ ヒヨドリ モズ カヤクグリ
ルリビタキ ジョウビタキ シロハラ ツグミ
ウグイス エナガ ヤマガラ シジュウカラ メ
ジロ ホオジロ カシラダカ アオジ シメ ス
ズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラ
ス ハシブトガラス (28種) 天気も良く、風も弱
い絶好の探鳥日和の中、期待に胸を膨らませてス
タート。たくさん参加者の期待に応えるように、
カヤクグリやお目当てのルリビタキが登場し、内
容の濃い探鳥会となった。(田口浩司)

1月16日(月、振休) 北川辺町 渡良瀬遊水池

参加: 31人 天気: 晴

カイツブリ ハジロカイツブリ カンムリカイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ カワアイサ オオタカ ノスリ チュウヒ タゲリ キジバト ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ ツグミ シジュウカラ ホオジロ カシラダカ オオジュリン スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (33種) 貯水池を回って、カモを主に観察する予定でスタートしたが、風が強く波があるため、カモは池の中には少なく、はるか遠くの堤防でお昼寝中だった。カンムリカイツブリやハジロカイツブリは見られた。芦原の上を飛ぶチュウヒも十分に見られた。(中島康夫)

1月22日(日) 長瀬町 長瀬

参加: 14人 天気: 雨

カイツブリ コサギ オシドリ マガモ カルガモ コガモ オナガガモ トビ イカルチドリ イソシギ キジバト カワセミ コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ ジョウビタキ ツグミ シジュウカラ ホオジロ カシラダカ アオジ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (30種) 雨天の中、群馬、茨城といった他県からの参加者もあり、相談の上実施。河原近くのヤブでは、ジョウビタキが何回も近くに来てくれ、河原では、全員でカワセミ、オシドリをじっくり観察したが、“きれい” “かわいい” の声があった。宝来島公園では、100羽近いカシラダカを中心とした混群が採餌に夢中で、しばらく観察がてら、その場で待機。雨天にしては充実した探鳥会になったようだ。(小池一男)

1月22日(日) 春日部市 内牧アスチック公園

参加: 27人 天気: 曇後雨

コサギ タゲリ タシギ シラコバト キジバト コゲラ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ツグミ ウグイス シジュウカラ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (24種) 生憎の曇り空。午前中はおつだらうと期待して出発早々、草地にアオジを観察。斜面林沿いに南下。途中、冬田にタゲリ1羽を目撃。貴公子然とした姿に皆さん感激した様子。次いで雑木林の中の地面で採餌中のシメ

やツグミ、カシラダカをじっくり見る。林を抜け出た頃は、小雨模様。それでもシラコバト5~6羽が出て、またまた感激。タヒバリが次々と飛び出す冬田の中を出発地へ戻る。本降りになり、早目の鳥合わせ。初めての探鳥会にしては、まずまず。参加者の皆さんありがとう。(石川敏男)

1月22日(日) 川口市 差間

参加: 11人 天気: 雨

キジバト ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ツグミ シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (13種) 冷たい雨が降る中、11人の熱心な参加者が集まり予定どおりスタート。期待のコミミズクは、今年も差間の芦原で越冬しているのですが、雨の中ではなかなか姿を見せてくれません。雨が途中強く降り出し、早々に引き上げ、鳥合わせ。出現鳥は13種と残念な結果に終わりました。(手塚正義)

1月22日(日) 狭山市 入間川

参加: 12人 天気: 曇後雨

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ マガモ カルガモ コガモ オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ キンクロハジロ キジ イカルチドリ ハマシギ イソシギ ユリカモメ キジバト ヒメアマツバメ カワセミ アオゲラ コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ビンズイ ヒヨドリ ルリビタキ ツグミ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (41種) 3時間足らずで水辺の鳥から山の鳥まで41種の野鳥を確認できた、きっといい所だと思わうでしょう。確かにいい所ですが、もし人間が鳥の生活の場を侵しているために彼らの姿を目にしているとしたら……。身近に沢山鳥が見られとうことは、場合によっては良くないことでしょう。(長谷部謙二)

1月28日(土) 『しらこぼと』袋つめの会

ボランティア: 14人

赤塚義正、荒木恒夫、江波 功、海老原教子、海老原美夫、角田真喜子、倉林宗太郎、佐久間博文、佐藤信治、篠原東彦、松元達夫、安原久子、谷津弘子、渡辺喜八郎

連絡帳

■ バードソン'94最終報告

バードソン'94の結果が最終的にまとまりました。リブラン埼玉レッズ'94は全38チーム中総合15位、種目別では、種数73で15位、募金者数197で11位、募金予定額41万7,241円で15位でした。

募金総額は目標2,000万円には及びませんでした。1,725万1,507円。野鳥保護基金に使われます。

なお、昨年、埼玉支部のチームは、やはり総合15位、種数72(17位)、募金者数219(13位)、募金額52万9,500円(14位)でした。

ありがとうございました。

■ 日本野鳥の会阪神大震災義援金

兵庫県支部(重政慶三支部長)は、会員数1,700名の半数以上が神戸市内に居住しており、新聞紙上の死亡者欄に数十名の会員と同姓同名の方がいることが確認出来ただけで、まだ安否も確認出来ないでいます。支部事務所が入居していたビルも損壊して使用不能となるなど、甚大な被害を受けました。

そこで、本会理事会の発案で、兵庫県支部の再建を主な目的として、義援金を募り応援することになりました。

埼玉県支部では、2月19日の役員会で、支部会計から5万円を送ることが決まり、早速送金しました。

皆様のご協力をお願いします。

ご送金先 郵便振替口座 00130-7-36732

加入者名 日本野鳥の会阪神大震災義援金

受付 1995年4月末日まで

直接のご送金の手間を省くため、探鳥会などでもお預かりしますが、その場合の送金者名は、埼玉県支部になりますのでよろしく。

■ 評議員会に出席

2月18日(土)~19日(日)の2日間、都

内渋谷区の会場に、全国から支部代表者が集まって評議員会が開かれ、松井昭吾支部長はオブザーバーとして、海老原美夫副支部長は評議員として出席、野鳥の会のあるべき姿に関する議論などに積極的に意見を述べました。

■ 前支部長の写真展

鈴木忠雄前支部長の「ケニア動物写真展」が開催されています。

期間 3月6日(月)~4月28日(金)

会場 群馬銀行熊谷支店(中仙道と市役所通りの交差点、駅から徒歩5分)

■ 4月の土曜日当番(2時~6時)

1日 中島康夫 楠見邦博(普及部会議)

8日 立岩恒久 伊藤芳晴

15日 山部直喜 海老原美夫(編集会議)

22日 三田長久 杉本秀樹(校正の日)

29日 袋づめの会(1時から)

■ 会員数は

3月1日現在2,527人です。

活動報告

2月18日 『しらこぼと』3月号校正作業(浅見健一、海老原美夫、工藤洋三、森本國夫)。

2月19日 役員会議(司会:桜庭勇、阪神大震災義援金・関東ブロック会議出席者・自然学習センター意見交換会出席者、行事予定・その他)。

編集後記

職場の昼休みに双眼鏡をぶら下げて、構内を散歩している。先日、珍しくトラツグミが開けた場所に居るのを見ていたら、同じ視野にビンズイ。そこから50m程歩くと、また別のトラツグミを発見。見ていたら、同じ視野にシロハラがひょっこり。思わずニンマリ。午後の仕事に気分よく入れた。(森本國夫)

しらこぼと 1995年4月号(第132号) 定価100円(会員の購読料は会費に含まれます)
発行人 松井昭吾 編集発行 日本野鳥の会埼玉支部 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460
336 埼玉県浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号 郵便振替 00190-3-121130
印刷 関東図書株式会社 (本誌掲載記事の無断掲載はかたくおことわりします)

再生紙使用